

株式会社インタラクティブィ 番組審議委員会議事録

1. 開催日時： 平成 29 年 11 月 10 日（金） 16 時 30 分～18 時 00 分

2. 開催場所： 株式会社ジュピターテレコム会議室 3 階 Room6 会議室

3. 委員の出席：

委員総数： 7 名

出席委員数： 7 名

出席委員の氏名：

（敬称略、五十音順）

植田 益朗、音 好宏、片山 哲郎、砂川 浩慶、中川 幸美、村上 憲一、吉岡 忍

放送事業者側出席者：

株式会社ジュピターテレコム

上席執行役員 メディア事業部門長 村山 直樹

株式会社インタラクティブィ

代表取締役社長 長谷 一郎

ジュピターゴルフネットワーク株式会社 <ゴルフネットワーク HD>

代表取締役社長 木下 伸

取締役 前田 鎮男

編成部長 石上 健治

チャンネル銀河 株式会社 <チャンネル銀河 歴史ドラマ・サスペンス・日本のうた>

代表取締役会長 柳 昌之

代表取締役社長 寺嶋 博礼

部長 秋元 美加

事務局：

株式会社ジュピターテレコム

DTH 営業部 平本 善一、森井 健策、田口 聖美、細江 央輝

4. 議題

株式会社インタラクティブィで放送する 6 チャンネルの内、「ゴルフネットワーク HD」、「チャンネル銀河 歴史ドラマ・サスペンス・日本のうた」の番組内容、編成内容について。

5. 審議内容

①「ゴルフネットワーク HD」の編成及びオリジナル番組「ぎゅっと週刊国内ツアー」（#26、#28）について、各委員より以下のような意見・質問がなされた。

- ・「ゴルフトーナメントが終わる日曜日の翌日に放送する」といった時宜を得た放送・編成としては賛成できる。
- ・プロ選手のクラブセッティングのコーナーは他のゴルフ番組にないので面白いが、もっと詳しく説明してほしい。
- ・プロの技の解説や、コースセッティング、新人の女性プレーヤーがトーナメント運営の手伝いをしている話など、もっと掘り下げていった方が興味・関心が惹きやすいと感じた。
- ・番組の尺が短い中で、情報量が多く、場面転換も早いため、コーナーの境目がわからず、理解度が薄くなってしまう。キャスターを立てる、振りを入れる、コーナーのテロップフォローなど、視聴者が情報を処理できる工夫が必要。
- ・全体のトーンが番組の開始から終了まで同じだったため、メリハリがあった方がいい。
- ・コーナーの役割や狙いが、初めて見た人にもわかりやすいように“つかみ”があるとよい。
- ・女性をバストアップでインタビューしていたが、サンバイザーで顔に影ができてしまっていた。光の当て方などで調整できたはず。綺麗に撮る配慮が足りない。
- ・翌週のツアーの紹介が番組の最後に静止画 1 枚で表示されていたが、安っぽさを感じた。ナレーションと合わせて大会ごとに紹介するなど、もう少し丁寧に作った方がいい。
- ・ゴルフ人口が増えない今、ゴルフプレーヤー、ゴルフファンだけのチャンネルになってしまうのではなく、ゴルフをフックに、アニメ、ドキュメンタリー、ドラマなどのジャンルにチャレンジできるといい。ジュニアや若年層にフォーカスを充てた番組があれば、選手やその家族も含めて視聴のすそ野を広げられるのではないかと。
- ・天才キッズのトレーニング法や、その人間性にフォーカスしたり、技をフックにしたりするなど面白いと思う。
- ・生中継にこだわらず、選手が自身のプレーを副音声で解説してみてもどうか？メジャーな選手であればおもしろいと思う。
- ・生中継では SNS 等を用いた取り組みも検討してはどうか。
- ・本番組に限らず、放送されている他の番組のバリエーションもきわめて表層的な感じに思う。
- ・もっとゴルフ文化をきっちり伝える精神があってもいいと思う。

<事業者回答>

- ・情報量が多い、コーナー数が多いというのは、ご指摘の通り。できる限り日曜日までの放送（トーナメント中継）を見ていない人にも情報を伝えるべく編集したが、詰め込みすぎた感はある。構成に問題もあるため、改善の余地はある。
- ・SNS の連動としては、他の番組（トーナメント中継等）で実施している。

- ・アニメの取り組みは検討中。
- ・安っぽさが出てしまったことはご指摘の通り。制作担当1人で取り組んでいるのが実情であり、取材できるのが男子か女子の大会、どちらか片方になってしまう。制作担当者が日曜日に自身でカメラを回し、最短で編集し、月曜日の夜に放送している。
- ・切り口として、必ず現地で取材していることが強み。選手の取材やクラブセッティングはなかなか見られない。
- ・クラブセッティングは編成がこだわった点であり、意図が伝わってよかった。
- ・インタビュー内容についても、改善の余地はある。専門チャンネルとしての聞き方を工夫すべきだと認識している。
- ・ターゲット層については、国内ツアー関連の番組が弱く、そこを広げるために実施している。

②「チャンネル銀河 歴史ドラマ・サスペンス・日本のうた」の編成及びオリジナル番組『平成トーク！大河ドラマ「平清盛」#銀河盛に備えよ！！』について、各委員より以下のような意見・質問がなされた。

- ・CSのチャンネル銀河ならではの番組だと感じた。
- ・番組をPRする番組として非常によく、成功している。
- ・自身も「平清盛」を途中まで見てやめた経験者だが、この番組を見てまた見たいと思った。
- ・低視聴率であったことにあえて光を当てるといえることがおもしろかった。高視聴率だから放送するというのが普通と考えるが、低視聴率＝見てない人が多いということに絞る観点が面白い。専門チャンネルらしいチャレンジングなコンテンツだと感じた。
- ・SNSに目を付けた点がよかった。
- ・大河ドラマを切り取る番組を、毎回やっても良いと思った。
- ・時間差において番組を3回見たが、本番組は、回数を重ねるほどおもしろくなった。
- ・番組の面白さがどこにあるのかを考えるとSNSを使った絡みや、SNSアワード等のキャッチアップ、自虐的に笑い飛ばそうという（ブラックジョークのような）気持ちが伝わってきて、面白かった。
- ・本番組が、これから見る人につくったのか、すでに見た人に対してつくったのか、ちょっとわかりにくかった。歴史背景をおさらいしたうえで、ドラマの位置づけを表現しないと、番組として何を言いたいかわからないままになってしまう。
- ・出演者4人の話があまり絡んでおらず、おもしろくなかった。
- ・MCが曖昧。どちらかという歴女役の認識が高いのか進行役としては機能していなかった。
- ・全員が台本を手元に置いているのが気になった。
- ・公開収録をし、SNSをその場で投稿してもらおう形だそうだが、もっとその場のお客様のSNSをもっといじってもよかった
- ・話の軸が広がりすぎて、何の話だったのか、観終わった時に思ってしまった。構成に問題があ

ると感じた。

・CSチャンネルであることを生かすのであれば、濃いファンを巻き込むなどチャンネル銀河しかできない濃さをもっと出してもいいと思う。

<事業者回答>

・ターゲットはすでに見た方を対象にした。地上波の番組を参考に、誰も知らないものを盛り上がっているトークで見せることで、興味喚起を起こすことが狙い。

・「平清盛」の放送を非常にためらっていた部分もあったが、ツイッターで人気だったことなどヒットする可能性があることを見つけだしてくれた若いスタッフたちの強い思いに動かされた。

・本作で出演者の一人がその場でPCを観ており、視聴者(公開収録参加者)のツイートを拾っていたが、放送にする際に画面に出さなかったのは残念でした。

・次の大河ドラマを放送する際の参考にし、ステップアップしていきたいと思います。

以上